

性能試験表

依頼者	会社名	三和式ベンチレーター株式会社	
	所在地	愛知県稲沢市高重中町53番地	
試験体	一般名称	天 窓	
	商品名	HPQ-900GP	HRQ-1300G
	仕 様	試験体寸法：W1150mm×D1150mm×H757.5mm 枠内法寸法：w820mm×d820mm ガラス：網入り型板ガラス(厚6.8mm) ガラス押え1：SUS304(厚2.0mm) ガラス押え2：SUS304(厚2.0mm) ドアフレーム：SUS304(厚2.0mm) ボデ ィ：SUS304(厚2.0mm) ベ ー ス：SUS304(厚2.0mm) X ア ー ム：F.B-12mm×38mm 気 密 材：EPDM バッグアップ材：ポリ塩化ビニール シ ー リ ン グ：シリコン系	試験体寸法：W1550mm×D1550mm×H413.5mm 枠内法寸法：w1212mm×d1212mm ガラス：網入り型板ガラス(厚6.8mm) ガラスカバー：SUS304(厚2.0mm) ドアフレーム：SUS304(厚2.0mm) ボデ ィ：SUS304(厚2.0mm) ベ ー ス：SUS304(厚2.0mm) 気 密 材：EPDM バッグアップ材：ポリ塩化ビニール シ ー リ ン グ：シリコン系
試験方法		JIS A 1516-1998「建具の気密性試験方法」、 JIS A 1517-1996「建具の水密性試験方法」および JIS A 1515-1998「建具の耐風圧性試験方法」に準じて行なった。 すなわち、下図に示す試験装置に試験体を水平に設置して試験を行ない、 戸の開閉確認はすべての試験を終了した後に実施した。	
試験結果の概要	気密性	正圧の各圧力差における通気量は、依頼者指示の要求性能である JIS A 4706-2000「サッシ」に規定されるA-4等級線を上回らなかった。	
	水密性	依頼者指示の要求性能であるJIS A 4706-2000「サッシ」に規定される W-5等級(圧力差中央値500Pa(上限値750Pa))において枠外への漏水は観察されなかった。	
	耐風圧性	戸(ドアフレーム)の枠(ベース)に対する最大相対変位量は −0.3mm(−3.60kPa時)であり、依頼者指示の要求性能 であるJIS A 4706-2000「サッシ」に規定されるS-7等級を 満足した。 なお、除圧後の観察の結果、枠、戸および金具その他に機能 上支障のある残留変形は認められなかった。 試験終了後、戸の開閉確認を行ない戸は円滑に開閉すること を確認した。	戸(ドアフレーム)の枠(ベース)に対する最大相対変位量は −13.5mm(−3.60kPa時)であり、依頼者指示の要求性能 であるJIS A 4706-2000「サッシ」に規定されるS-7等級を 満足した。 なお、除圧後の観察の結果、枠、戸および金具その他に機能 上支障のある残留変形は認められなかった。 試験終了後、戸の開閉確認を行ない戸は円滑に開閉すること を確認した。
試験装置概要		HPQ-900GP 試験年月日 平成16年6月17日 散 水 能 力:2~6$\frac{L}{m^2 \cdot min}$ 最大加圧能力:±4.9kPa 試験体姿勢:0°(水平) (寸法単位mm)	HRQ-1300G 試験年月日 平成16年6月18日 散 水 能 力:2~6$\frac{L}{m^2 \cdot min}$ 最大加圧能力:±4.9kPa 試験体姿勢:0°(水平) (寸法単位mm)
試験機関名		財団法人 日本建築総合試験所	
所在地		大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号 電話 06-6872-0391	